

# LC と GC の基礎

材料分析編、食品分析編、医薬品分析編をもう一度

オンライン



## 開催概要

| 主催 |

アジレント・テクノロジー (株)

| 日程 |

2026年

4月22日(水) 材料分析編

5月8日(金) 食品分析編

5月14日(木) 医薬品分析編

| 時間 | 14:00 - 15:55

| 参加費 | 無料

| 開催方法 | オンライン開催

| 申込方法 |

アジレントホームページの本セミナーページからお申込みください。



<https://aglt.co/Fchm>

▲お申込みはこちら▲

お問合せ先:

アジレント・テクノロジー(株)

セミナー事務局

電話: 0120-477-111

lsca\_seminar@agilent.com

昨年、多くの方にご参加いただきご好評をいただいた「LCGC基礎ウェビナー」の再放送(前半) + Live Q&A(後半)を、分野別に開催いたします。

本ウェビナーでは、LCおよびGCの基礎事項を短時間で整理し、日々の分析業務で生じる疑問や課題に講師がライブで回答します。

材料・食品・製薬の3分野に分けて実施することで、各領域の実務に合わせた内容を効率よく確認いただけます。前回開催時には多数のご質問をいただき、参加者限定でQ&A集を提供いたしました。

今回も実務にお役立ていただける情報を中心に構成しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

## プログラム | 4月22日 Day 1 材料分析編

14:00 - 14:05	はじめに
14:05 - 14:20	「LCとGCの使い分けと材料分析」 ポリマーなどの材料を分析する上で、LC、GCどちらの手法で分離測定するか、使い分けについて解説します。 アジレント・テクノロジー株式会社 穂坂 明彦
14:20 - 14:35	「GCによるポリマーのキャラクタライゼーション」 材料分析で用いられるパイロライザーGC/MSの原理とデータ解析を紹介します。 アジレント・テクノロジー株式会社 穂坂 明彦
14:35 - 14:50	「LCによるポリマーの分子量分布分析」 GPCによるポリマーの分子量分布の原理及びカラムの選択を解説します。 アジレント・テクノロジー株式会社 三輪 俊夫
14:50 - 15:00	質疑応答
15:00 - 15:15	休憩
15:15 - 15:30	「LC, GCによるポリマー中の添加剤分析」 ポリマー中の添加剤をLC, GC及び質量分析計を用いて測定する方法を解説します。 アジレント・テクノロジー株式会社 三輪 俊夫
15:30 - 15:45	「GCによるポリマーの揮発性有機化合物分析」 ポリマーの残存モノマーや異臭成分を測定する方法を解説します。 アジレント・テクノロジー株式会社 穂坂 明彦
15:45 - 15:55	質疑応答

## プログラム | 5月8日 Day 2 食品分析編

14:00 – 14:05	配信開始
14:05 – 14:10	「食品におけるLCとGCの使い分け」 液体に溶けていればLC? 揮発性物質はGC? どちらの手法で測定するか、使い分けについてお話しします。 アジレント・テクノロジー株式会社 林明生
14:10 – 14:25	「HPLC による食品分析の基礎」 アミノ酸、糖、有機酸、ビタミン他、食品成分の分析について、LC 実機を使いながら分かりやすく説明します。 アジレント・テクノロジー株式会社 林明生
14:25 – 14:40	「GC による香気成分分析の基礎」 GC (GC/MSを含む) は、食品中の香気成分分析によく使用されています。香気分析は難しい分析の一つでもあります。初歩として知っていただきたい事項をわかりやすくご説明します。 アジレント・テクノロジー株式会社 姉川彩
14:40 – 14:50	質疑応答
14:50 – 15:05	休憩
15:05 – 15:10	「実際に分析してみよう・LCとGCによるビールの分析」 ビールは800種類以上の有機化合物が含まれる複雑なアルコール飲料です。LCとGCによる分析戦略を紹介します。 アジレント・テクノロジー株式会社 内藤厚子
15:10 – 15:25	「HPLC によるビールの分析」 LCでビール中のアミノ酸を分析します。実際にLCを使用しながら、前処理～測定～解析のワークフローをお話しします。 アジレント・テクノロジー株式会社 内藤厚子
15:25 – 15:40	「GC によるビール香気成分の分析」 GCでビールを分析します。香気成分分析のアプローチ方法や事例などをご紹介します。 アジレント・テクノロジー株式会社 姉川彩
15:40 – 15:50	質疑応答

## プログラム | 5月14日 Day 3 医薬品分析編

14:00 – 14:05	「医薬品分析におけるLCとGCの使い分け」 医薬品および医薬品中の不純物をLC、GCどちらの手法で分離測定するか、使い分けについてお話しします。 アジレント・テクノロジー株式会社 林明生
14:05 – 14:10	「HPLC による医薬品分析の基礎」 イソクラチック、グラジエントの基礎についてご紹介します。 アジレント・テクノロジー株式会社 林明生
14:10 – 14:25	「GC による医薬品分析の基礎」 医薬品中の残留溶媒分析には、ヘッドスペース (HS) -GC法が用いられています。ここでは、その基礎についてご紹介いたします。 アジレント・テクノロジー株式会社 中村 李
14:25 – 14:40	「クロマトデータシステムの基礎」 LCやGC用のクロマトデータシステム概要についてソフトウェアの画面を紹介しながらポイントをお話しします。 アジレント・テクノロジー株式会社 加藤 雄介
14:40 – 14:50	質疑応答
14:50 – 15:05	休憩
15:05 – 15:20	「GC による残留溶媒分析デモ」 HS-GC法を用いた医薬品中の残留溶媒分析における、サンプリングからレポート作成までのワークフローについて、注意点やコツを交えつつご紹介いたします。 アジレント・テクノロジー株式会社 中村 李
15:20 – 15:35	「HPLC による不純物分析デモ」 LCによる医薬品分離の課題に触れた後、実際にLCを使用しながら、測定～レポートまでのワークフローをご紹介します。HPLCとクロマトデータシステムが連携し、分析の自動化や規制対応の省力化を実現します。 アジレント・テクノロジー株式会社 野上 知花
15:35 – 15:40	「医薬品規制対応のポイント」 LCやGC用のクロマトデータシステムによる規制対応について紹介します。ネットワーク化のメリットについても触れます。 アジレント・テクノロジー株式会社 加藤 雄介
15:40 – 15:50	質疑応答